

# おくとろ

● 広報



## 春の祈り

4月7日(土)からツキノワグマの春季捕獲が始まった。

小国町猟友会金目班（木村慶政班長）では、4月8日(日)に金目集落の十二山神神社に参拝し、猟の安全と豊猟を祈った。険しい山々を知り尽くしたマタギたちは、自然の力に畏敬の念を抱き続けている。祈りの先に躍動の舞台がある。

2018

5

NO. 763

# 地域を楽しむ若者たち



## ～小玉川青年団イチコロの取り組み～

平成20年3月に閉校した旧小玉川小中学校を中心に、3月10・11日の2日間、「マタギの里小玉川雪まつり」が開催されました。雪まつりでは、地元マタギが案内するスノートレッキングや小正月行事を模した火祭り、地域住民との交流会のほか、雪上に巨大な迷路を作り一般開放する「雪の中の大冒険」が行われました。雪の中の大冒険を担当するのが、小玉川地区の若者を中心に組織する「小玉川青年団イチコロ」です。今月は、雪を活用して外部との交流事業を展開しながら、自分達自身が楽しもうと行動する小玉川青年団イチコロの取り組みを紹介します。

### 小玉川地区の概要

小玉川地区は、泉岡、長者原、小玉川、六斗沢の4つの集落で形成され、平成30年3月31日現在、42世帯、人口123人、高齢化率（人口に占める65歳以上の割合）約48%の地域です。小玉川地区には平成20年3月に閉校した旧小玉川小中学校があり、現在も同校区の全世帯を会員とする小玉川地区自然教育圏整備促進協議会（本間泰輔会長）・（以下「自整協」という。）を中心にして閉校校舎を拠点とした「幸せづくり」、「協働」、「健康」をテーマにしてさまざまな取り組みが展開されています。

雪まつりは、自整協が主催し今年で5回目。2日間の日程で開催され、初日は地域行事の体験や参加者と地元住民などとの交流会が行われます。そして、2日目の雪まつり

の中心的なイベントである「雪の中の大冒険」を担っているのが地域内の若者で組織する「小玉川青年団イチコロ（以下「イチコロ」という。）」です。現在、雪の中の大冒険は雪まつりのひとつのプログラムとなつていますが、雪まつりが始まる2年前の平成23年度からイチコロが独自で雪の巨大迷路のイベントを開催してきました。

## 小玉川青年団 イチコロ誕生

イチコロは、地域に住む若者と地区出身者によって平成24年1月に設立されました。小玉川地区では、小玉川中学校が閉校になったことを受けて開催された同窓会を契機に、地区の若者が集まって話をする機会が増え、その中で小玉川地区の特性である雪を活かして楽しむイベントの企画が持ち上がり、その実施主

体としてイチコロが誕生したのです。団体名のイチコロは、小玉川地区を構成する「泉岡（いずみおか）」、「長者原（ちようじゃはら）」、「小玉川（こたまがわ）」、「六斗沢（ろくとざわ）」の頭文字をとつてできた名前です。

イチコロは、「地域資源を活用し、自分たちが楽しめる何かをするために集まること」を活動の基本に据えて、雪を活用した雪の中の大冒険の企画や運営のほかに、各種視察研修や早稲田大学学生サークル「いぐべおぐに」との交流、小玉川地区の伝統行事である熊まつりへの協力、秋の紅葉シーズンに向けた地域内のゴ

ミ拾い、活動拠点である旧校舎の清掃など若手住民同士の親睦と地域参加の促進を図るため幅広い活動を展開しています。

## 初めての 雪の中の大冒険

イチコロ設立から2カ月後の平成24年3月、旧小玉川小中学校で初めてとなる「雪の中の大冒険」に取り組みました。初開催のこの年の迷路の大きさは現在の迷路の3分の2ほどで、参加者もメンバーの顔見知りなど約50人という規模でした。また、初めての開催ということもあって、迷

路の制作を1週間前に行ったことや天候などが影響し、雪壁が当日には約1メートル50センチほどになり、壁の上からゴールが見えてしまうというアクシデントも起きたのです。

しかし、イチコロのメンバーは初開催の当時に「こんな感じのイベントで意外と人が来るんだ」、「まだまだ改良の余地があるな」という前向きな感想を抱いたと言います。そうした1年目の経験を生かして、メンバーでの話し合いを重ねながら翌年からは、開催日前日に迷路づくりを行うとともに、当初はイチコロメンバーだけであった迷路制作や準備に地域の人を巻き込んで協力を得ながら運営を行いました。

また、当初は迷路だけであったイベントに雪のすべり台を制作したり、スノーフラッグ対決を取り入れてみたりしながら年々新たな取り組みに



▲宝探しが始まると一気に駆け出す参加者

チャレンジをし続け、徐々に規模を拡大していきました。

イチコロ代表の藤田梨絵さんは、「イチコロは若者が定期的に集まり、イベントを企画して地域を盛り上げるといったこともありすが、1番は若い世代の自分たちが楽しめる何かをしたいという思いがあります。若い世代が集まって年齢に関係なく互いに思っていることを言い合ってより楽しいことができばと思っております。今年の夏は、小玉川地区に帰省する人たちの楽しむ場づくりと地域住民のために、ビアガーデンをやるように計画しています。」と話してく

いただきました。

## 試行錯誤を重ね 規模を拡大

今では町内外から約200人が集まる雪の中の大冒険ですが、初開催からさまざまな試行錯誤を重ね、年々規模を拡大して現在があります。

今年の迷路は縦約40m、横約20m、高さ約2・2mの大きさがあります。この迷路の制作は、各家庭で所有しているハンドガイド除雪機を使って、事前に設定した形に徐々に掘り下げていきます。協力する地域住民は、腕の見せ所と機

械を巧みに操作して迷路を作りあげます。そして、迷路の脇には高さ約5mの雪のすべり台も作られました。

迷路に入るとどこにいてもかもわからなくなるほどの大きさがあり、雪の中の大冒険当日は、町内外からの参加者が心行くまで楽しみました。また、会場では迷路に隠したカプセルを使った宝探し抽選会や子どもから大人までが参加してスノーフラッグ対決が行われたほか、道路向かいの会場では杉沢スノーライダーチョスベ（佐藤一也代表）の協力を得て、スノーモービル乗車体験やスノーモービルに引かれたバナナボートに乗るなど、たくさんの親子連れが雪遊びを満喫していました。

今年初めて雪の中の大冒険に参加した小国小学校3年の後藤湊くん（岩井沢）は、「雪の迷路ではいっぱい迷ったけど、とても楽しかったです。迷路の隣にあるすべり台が1番楽しくて何回も遊びました。」と話してくれました。また、湊くんのお父さんの後藤智宏さんは、「このように大きなイベントを働きながら準備するのは大変なことだと思います。子育てをしている人もイチコロのメンバーにいらしてということで、子どもがより楽しめるイベントになってほしい。子どもを持つ親としてはとてもうれしく思っています。このイベントは豪雪地帯ならではの企画だと思っているので大変素晴らしいと思います。」と話してくれました。



▲4月19日に行われた総会。イチコロは、イベントごとに集まって話し合いを重ねている。



▲地域住民が協力して行う巨大雪迷路づくり

# 多様な交流を 生んでいる



▲2017年雪まつりスノーモービル会場にて

会場には地域のかたの協力を得て岩魚焼きやフランクフルト、山菜うどんなど地場産品を提供しています。さらに、平成26年度からは、町と地域資源活用域学連携事業を行っていた早稲田大学の学生サークル「いぐべおぐに」も出店し、この行事を地域の人と共に盛り上げてくれています。このようにイチコロが行う雪の中の大冒険は地域内だけで

なく町外、県外の人など多様な交流を生んでいるのです。こうしたイチコロの活動を

早い段階から見えてきた藤田秀喜さん（小玉川）は、「私が若い頃は、どこでも青年会がありました。今はずいぶん組織もない中で、小玉川小学校のOB・OG達が結束して何かに取り組む姿勢に、ひとりの地域住民としても心強く感じています。小玉川地区は、昔から熊まつりやわらび園、温泉があり、観光客が訪れています。冬は雪に閉ざされています。しかし、若者たちの発想で『雪の中の大冒険』という新たな取り組みが始まり、それまで人が来ない季節だったにもかかわらず、たくさんの人を呼び込んでいてとてもすごいなと感じています。若い人がまとまるのはとても頼もしいです。年配者が気付かない視点や発想で物事を考えているので、地域にいい影響を生んで



▲輝けやまがた若者大賞授与式での吉村知事との一枚

## 若者大賞を受賞

いると思います。限られた人数ですが、集まって話をしたりお酒を飲んだりしてコミュニケーションを図り、また新しい発想が出るかもしれないし、今後の地区を担う人たちです。若い力の活躍を期待しているところです。」と話してくださいました。

イチコロの「雪」を資源として活用した取り組みが、地域活性化に大きく寄与してい

ると高く評価され、昨年12月には「輝けやまがた若者大賞」を受賞しました。

この賞は、山形県の地域活性化に寄与する若者の功績や成果、地道な努力を顕彰し、若者が活躍できる風土づくりの推進を目的に平成23年度に創設されたもので、本町の若者団体が受賞するのは平成23年度の「おも白い森」に続いて2団体目となります。

雪の中の大冒険には地元出身の若い人も子どもを連れて帰省し、参加しています。若者の発案による地域を巻き込んだ取り組みを行う小玉川青年団イチコロの活動の基本にある「自分たちが楽しめることをする」という考え方は、自分の住む場所に新しい魅力を生み出す活動になっているのかもしれない。常にチャレンジを続ける小玉川青年団イチコロの取り組みが、今後も地域を元気にする源になることでしょう。

# 小国町高齢者保健福祉計画・

## 第7期小国町介護保険事業計画を策定

（平成30年度から介護保険料が変わります）

町では、平成30～32年度までの高齢者保健福祉施策の方向性や介護保険事業の運営方針を定めた「小国町高齢者保健福祉計画・第7期小国町介護保険事業計画」を策定しました。また、介護保険制度の持続可能性を確保するため、平成30年度から介護保険料や介護サービス費の利用者負担割合が変更されます。その概要についてお知らせします。

### 介護保険制度

#### 開始から18年

介護保険制度は、介護が必要な状態になってもできる限り住み慣れた地域で生活ができるよう、高齢者を社会全体で支えていくためのシステムです。平成12年度から第1期計画がスタートし6期18年が経過しました。これまで、本制度を中心として介護等の支援を要するかたがたを取り巻くサービス環境が拡充

され、その負担軽減が図られてきました。高齡化が進展するなか、地域によって高齡化の状況や介護需要も異なるため、地域の実情にあった地域包括ケアシステムをさらに推進することが求められています。

### 第7期介護保険事業計画を策定

平成30年4月1日現在の本町の人口は7680人で、高齡化

率（総人口に占める65歳以上の人口の割合）は、38・5%です。高齡者世帯数は905世帯で、総世帯の29・6%を占めており、そのうち高齡者の1人暮らし世帯数は459世帯になっています。また、平成30年4月1日現在の要支援・要介護認定者数は567人で、介護や介護予防などの支援を必要とする高齡者が年々増加する傾向にあることから、2025年には高齡化率42・7%、要介護認定者数が634人になると予測しています。

こうした背景を踏まえ、町では、平成30年度から32年度までを計画期間とした「小国町高齢者保健福祉計画・第7期小国町介護保険事業計画」を平成30年3月に策定しました。

基本目標を「支え合い生涯にわたり心豊かに暮らせるまちを目指して」と設定し、その実現

のため、次の4つの基本方針を定め事業を展開していくこととしています。

○高齡者の安全で安心な生活を支えるしくみづくり

介護職員初任者研修や資格取得助成制度の構築による介護人材の確保対策や認知症対策、支え合いほっとライン事業、冬期間の除雪支援の取り組みを推進していきます。また、平成31年度から民間事業者により、定員30人の特定施設入居者生活介護が新たに提供される予定です。

○高齡者が生きがいを持ち、自分らしく活動できる環境づくり

健康診査や特定保健指導のほか、健康教室や介護予防教室を開催します。また、サークル・ボランティア活動や地域サロンなど住民が主体となった交流活

動を促進し、生きがいづくりにつなげていきます。

○**ともに支え合う心豊かな地域づくり**

保健・医療・福祉・介護を一体的に提供する地域包括ケアシステムを引き続き推進していきます。また、在宅医療と介護の連携や地域ケア会議などに取り組みとともに、新たに生活支援コーディネーターを配置し、配食やゴミ出しなど高齢者のかたの日常生活を支えるサービス提供のしくみづくりを検討していきます。

○**持続可能な介護保険事業のしくみづくり**

介護保険制度の持続性を高めるため、要介護認定調査の事後点検やケアプラン点検を積極的に実施するなど、介護給付の適正化に努めていきます。

**介護保険料を改定しました**

介護保険サービスの費用は、

国や県、町の公費負担と、40～64歳のかた（第2号被保険者）と65歳以上のかた（第1号被保険者）が納める保険料で運営されており、皆さんが納める保険料が介護保険事業を進めるための大切な財源になります。

平成29年の制度改正によって、2割負担者のうち特に所得の高い階層の負担割合を3割にするなど、負担能力に応じて見直されましたが、平成30年度の国による介護報酬の改定では平均で0.54%引き上げとなり、さらに消費税増税や介護職員の人材確保という観点から処遇改善が予定されており、給付費の増加などが見込まれることから、本町の基準額を年額70600円（月額は5890円）に設定しました。なお、設定にあたっては、

改定前 H27～H29			改定後 H30～H32		
区分	対象者	保険料(年額)	区分	対象者	保険料(年額)
1	右に同じ	31,800円 (軽減後の額 28,600円)	1	◆生活保護を受給しているかた ◆本人および世帯全員が住民税非課税で、老齢福祉年金を受給しているかた ◆本人および世帯全員が住民税非課税で、本人の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下のかた	35,300円 (軽減後の額 31,800円)
2	右に同じ	40,100円	2	◆本人および世帯全員が住民税非課税で、本人の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円を超え120万円以下のかた	44,500円
3	右に同じ	47,700円	3	◆本人および世帯全員が住民税非課税で、本人の合計所得金額と課税年金収入額の合計が120万円を超えるかた	53,000円
4	右に同じ	52,800円	4	◆本人が住民税非課税で、本人の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下のかた（世帯内に住民税課税のかたがいる場合）	58,600円
5	右に同じ	基準額 63,700円	5	◆本人が住民税非課税で、本人の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円を超えるかた（世帯内に住民税課税のかたがいる場合）	基準額 70,600円
6	右に同じ	76,400円	6	◆本人が住民税課税で、合計所得金額が120万円未満のかた	84,800円
7	◆本人が住民税課税で、合計所得金額が120万円以上190万円未満のかた	82,800円	7	◆本人が住民税課税で、合計所得金額が120万円以上200万円未満のかた	91,800円
8	◆本人が住民税課税で、合計所得金額が200万円以上290万円未満のかた	95,500円	8	◆本人が住民税課税で、合計所得金額が200万円以上300万円未満のかた	106,000円
9	◆本人が住民税課税で、合計所得金額が290万円以上のかた	108,300円	9	◆本人が住民税課税で、合計所得金額が300万円以上のかた	120,100円

▲改定した65歳以上の被保険者のかたの介護保険料

基金の取り崩しを行うなど、介護保険料の引き上げをできる限り抑えました。

**支え合い、いきいきと暮らせる町に**

町では、介護保険などの支援

が必要なかたに対して、求められるサービスを提供できる環境を整えるとともに、元氣な高齢者のかたがたが活躍できる機会を創出するなど、共助のしくみを活用しながら高齢者を含めた多様なかたがたが支え合い、いきいき暮らすことができるまちづくりを展開していきます。



**4月6日**  
大宮子易両神社

## 町内での無事故を願って ～平成30年度交通安全祈願祭～

小国町交通安全推進協議会が主催する交通安全祈願祭が、4月6日、大宮子易両神社で行われ、小国地区交通安全協会や小国町交通安全母の会の会員など7団体38人が参加しました。

交通安全祈願祭の後、小国警察署のパトカー4台が町内を巡回したほか、小学校での啓発活動を通して交通安全を呼びかけました。

**4月8日**  
町民総合体育館

## 切磋琢磨を誓って ～スポーツ少年団入団式～

小国町スポーツ少年団本部入団式が、4月8日、町民総合体育館で行われ8団から約130人が参加しました。式では、齋藤良行本部長が「スポーツをすることで健康になり、スポーツを通してさまざまなことを学ぶことができます。今年も一生懸命各団での活動に励んでほしい」と話されました。

式後には体力テストが行われ、腕立て伏せや上体起こしなど5種目に挑戦し、子どもたちは競い合いながら一生懸命に取り組んでいました。



**4月6日・7日**  
町内各学校

## 笑顔で堂々と入場 ～町内各学校入学式～

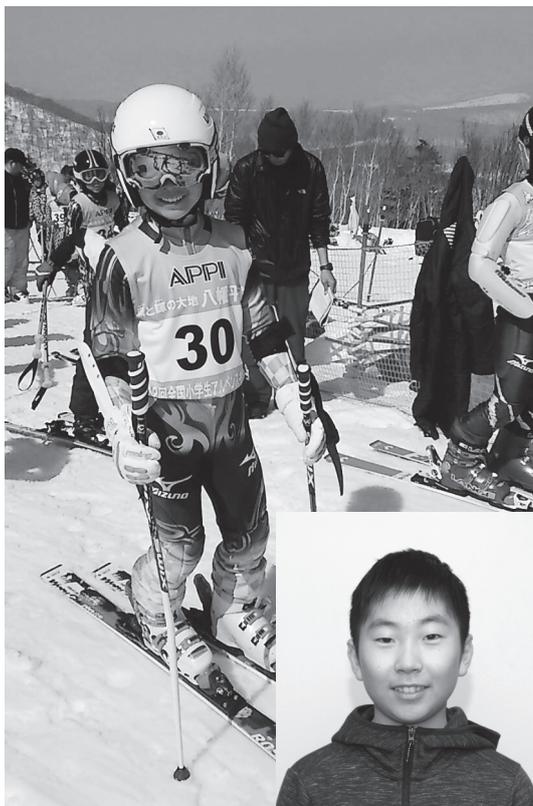
4月6日、7日に町内各学校の入学式が行われました。小国小学校では、6日に小学校アリーナで入学式が行われました。小国小学校の今年の入学生は59人で、保護者が見守る中、上級生が作る花のアーチの下を笑顔で堂々と入場しました。また、新入生呼名では、一人ひとりの名前が呼ばれると「はいっ！」と元気よく大きな声で返事をしていました。

**4月8日**  
総合センター

## 新たに7人が入団 ～小国町消防団辞令交付式～

小国町消防団辞令交付式が、4月8日、おぐに開発総合センターで開催され、新たに消防団員となった7人や昇格した幹部団員などに対し辞令が交付されました。伊藤団長は、「各分団において今以上に訓練を重ね、町民に安心を与えられるよう諸活動を継続してほしい」と訓示をしました。また、辞令交付式後には新入団員研修が行われたほか、各分団が春季火災予防パレードに出発しました。





3月26-28日  
岩手県八幡平市

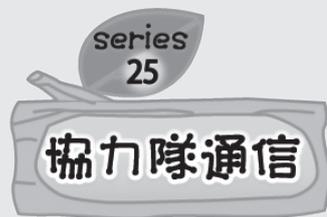
## とわ 村上冬羽さんが全国大会出場 ～全国小学生アルペンスキー大会～

小国中学校1年の村上冬羽さん(栄町)が、3月26日から28日まで、岩手県八幡平市の安比高原スキー場で開催された「第12回全国小学生アルペンスキー大会」に出場しました。

村上さんは、2月17日に上山市の蔵王ライザスキー場で行われた「第12回全国小学生アルペンスキー大会山形県大会」小学6年生男子の部で6位入賞し、全国大会出場権を獲得しました。

全国大会では、1本目の滑走で16位になると、続く2本目には全体で13位の滑りを見せ、2本合計タイムの順位でも1本目から順位を上げて13位となりました。

大会を終えて村上さんは、「今年の全国大会では、いい結果を出すことができなかつたので、来シーズンも全国大会に行つて、いい結果が残せるように頑張りたいです」と話してくれました。



「いっぱい  
楽しんでいきます」

地域おこし協力隊

ねもと しゅんすけ  
根本 俊輔

桜の咲く時期が東京にいた頃に比べてだいぶ遅く、雪もまだ残つていて、小国での生活はまだまだ驚くことばかりです。それでは、最近印象に残つた出来事をご紹介します。

① 東部地区の河原角から猿鼻山(ざるつばなやま)を登山しました。初めての雪山登山で一步一步滑り落ちないように気をつけながら歩きました。山頂付近では、僕の住んでいる新股が一望でき、尻滑りで下山できて楽しいことばかりでした。

② 水源の郷交流館で、小国の杉を使い自分だけの箸作りをしました。地域のかたや基督教独立



学園の生徒が、お箸作りに没頭していました。僕は作ったマイ箸でご飯をたくさん食べています。

③ 南部地区の小玉川雪祭りです。雪での巨大迷路、滑り台、スノーフラッグなど盛りだくさんのイベントでした。雪でこんなにいるる遊ぶことができることに驚きました。

④ 去年スポーツ公園に植樹した桜です。今年は咲くか分かりませんが、楽しみにしながら眺めています。わくわく！

# 技を絢なう その①

## 人と道具の物語

四季折々、自然の移ろいとともに展開される小国町の暮らし。そこには身の丈にあわせ道具を作りだし、それらを巧みに用いて野・山・川の恵みを得る技（わざ）が息づいています。それは、例えるなら藁で絢なわれた縄のようなものなかもしれません。親や先輩たちから教わった技術に自分なりの工夫を継ぎ足し、次代へと伝えていく。ここでは、そのような人と道具が響き合う「技絢ない」の物語をシリーズで届けます。

残雪抱く飯豊連峰を望むマタギの郷交流館（小玉川地区）。中に入ると、そのすぐそばに立てられた巨大な「田植え用杵」に圧倒されます。正六角柱形の木杵で、その幅は約365センチもあります。田植え用杵は、かつて稲苗を手植えしていた頃に使われた道具です。これを田んぼに転がすことで等間隔で苗を植えることができるよう跡を付けるのです。この大きな杵だと、一度に約30センチ間隔で13条（苗を植えるみちすじ）分の跡を付けることができます。それにしてもなぜこのような大きな杵が作られたのでしょうか。

「昭和42年の（羽越）水害で田んぼが土砂で埋まっちゃったわけだ。その復旧でブル（ドーザー）を入れて田を大きくしたんだな。そうして作ったども田が大きくて。普通の杵って6尺位（約180センチ）しかないんだ。そんなんでやっていると大変だし。また、ブルで田んぼをかき回すとドロドロして普通の杵では跡が付かないんだな。苗を植えてもまっすぐ立たないくらいだから。しばらくは縄張って（跡を付けて）やってたけど、これはだめだと。よしじゃ俺は倍のやつを作ると。それで作ったんよ。家をホゴ（解

体）したとき竿縁（さおぶち）。（天井板を支えるための細長い材）を取って。節のない良い杉材で、それを加工してな。近所に大工がいてよく作ってるもんだから見えてさ、よし俺作ってみるって。あの組作りがな、なかなか難しくくてな。」

そう語るのは、この杵を作った小玉川の伊藤良一さん（昭和15年生まれ）です。昭和46年の春のことだそうです。

「もともと小玉川は長者原や泉岡に比べると一番作付面積が少なかったんだな。小玉川の衆

は山菜採りが本気であつたから。雪消えたら田んぼなんかしねえでゼンマイ採りだ。だから植え方もほとんどみんな新潟県から来てもらってな。この辺ではかなり昔から（新潟県の人達は）入ってみたいんだな。一番最初は養蚕。俺の家でも寝るところがないぐらい棚作って飼ってたちゅうんだな。その桑採りに新潟から頼んでたんだ。それで、その頃からの関係で田植えにも頼むようになったんだ。1軒で少なくて2人。オラほの田んぼちっこかったから2人頼んで3日で終わってたな。ほとんど女子衆（おなご



▲伊藤良一氏



▲マタギの郷交流館で展示されている田植え用枠（伊藤良一氏作製）

しゅうだ。年寄りも来たけど、若い衆も来て、いろいろと楽しかった。それが縁でこっちに嫁いできた人もいるんだな。

苗を植えるとき、田んぼの水をある程度引いて跡を付けてたけど、そんなに落とさなくても

いいんだな。それも新潟の人から聞いたんだ。オラだの田んぼ昔はちっちゃかったから、植えてからすぐに水を張るようになってたんだも、それだば大きい田んぼだと植える前に硬くなってしまふんだ。どうしても大きな田だと昼前なんかには終わらなくてできなくて、だんだん乾いていってしまうんだな。そうすつと苗の根っこつかなくなつてさ。あと（田んぼの）水少ないと、植えてる途中に雨降れば雨粒で枠の跡が消えてしまふんだな。だから先にある程度、水張つてそこに枠まくして。若干水は濁るけど跡はちゃんと付いてんだ。そこに新潟の人達は前向きに進みながら植えていくんだな、オラだは後ろ向きだったけど。後ろ向きに進んでいくと水が深ければ濁つて次に苗を植えるところが見えなくなんだ。その点、前向きてのは非常によかったもんだ。新潟のほうは大きい田んぼが多くて、そういうふうにしてたわけだ。」

この田植え用枠というのは、

古くから用いられていた民具のように見えますが、発明され、全国的に普及したのは明治期の後半から大正期にかけての頃のようにです。明治時代になると、品種改良を含め稲作増産のための様々な技術改良が各地で盛んになり、農家への導入が政治的に進められました。生育に適した間隔で苗を植える正条植もそのひとつで、田植え用枠をはじめ、そのための多様な道具・技術が開発されたのです。『山形県史 農業編（中）』によると、「正条植法は明治30年代に農商務省の訓令によって指導せられ、各地方庁は従来の乱雑植解消のため積極的な活動をなし、本県でも比較的短期間で普及し



▲昭和39年の田植え風景。後ろ向きに植えている。また、その奥では一人が枠を転がしている（小国町役場所蔵）

た」ようで、昭和16年には山形県の稲作面積のうち99%は正条植となっていたとのこと。それにしても、田んぼの大きさに合わせ大きな田植え用枠を自作したり、それに適した植え方に変えていく。そこに技のしなやかさを感じずにはいられません。

第25期

**緑のふるさと  
協力隊**  
が着任しました

いわい たくま  
**岩井 拓磨** 隊員

年齢 22歳  
出身地 和歌山県紀の川市  
活動地域 沖庭地区



4月11日、第25期緑のふるさと協力隊として岩井拓磨隊員が着任しました。

岩井隊員は和歌山県出身の22歳。高校卒業後大阪の専門学校で動物の飼育方法や体の構造について学んだ後、地元ペットショップで2年間勤務していたそうです。この度、舟渡地区で生活をしながら1年間沖庭地区を中心に活動することになりました。

岩井隊員は「知らないことばかりですが、さまざまな事に一生懸命挑戦したいと思っています。1年間よろしくお祈いします。」と意気込みを語ってくれました。

**町立病院内科に**  
わたなべ としはる  
**渡邊 敏治** 先生



出身地 福島県大玉村  
専 門 消化器内科

4月2日から、町立病院の内科に渡邊敏治先生が着任し、診療にあたられています。

渡邊先生は、福島県大玉村出身で、3月までは日本海総合病院（酒田市）に勤務していました。専門は消化器内科です。

渡邊先生は「小国町と私の出身地である大玉村が災害時の応援協定を締結している縁があるという話をお聞きして驚きました。以前の勤務先とは働き方が違う中、自分がどこまでできるかわからないですが、地域になくではない町立病院の中で、皆さんの役に立てるように精一杯頑張りますのでよろしくお祈いします。」と話してくださいました。

平成31年度採用  
**小国町職員を募集します**

■職種と募集人員

- ①上級行政 若干名
- ②上級土木 若干名

■受験資格 昭和63年4月2

日から平成9年4月1日までに生まれたかたで、大学（短期大学を除く）を卒業したかた（平成31年3月大学卒業見込みのかたを含む）

■試験内容

▽第1次試験

- ①教養試験（大学卒業程度）、職場適応性検査、作文試験
- ②教養試験（大学卒業程度）、専門試験（大学卒業程度）、職場適応性検査、作文試験

▽第2次試験

第1次試験合格者を対象に面接試験を行います。

■試験日及び会場

- ▽第1次試験 6月24日(日) 山形テルサ（山形市）
- ▽第2次試験 7月下旬～8月上旬 小国町役場

■募集期間

5月8日(火)から6月5日(火)まで（必着）

■受付時間及び場所

午前8時30分～午後5時15分  
持参する場合  
総務企画課行政管理担当へ  
直接提出してください。

※ただし、土日祝日は、日直の職員に提出してください。

▽郵送の場合

封筒の表に「小国町職員採用試験受験申込書在中」と朱書きのうえ、簡易書留により郵送してください。（6月5日(火)まで必着）

■受験票の交付

受験申込書の受理後、本人あてに送付します。

■募集要項・申込書

○配布場所

小国町役場、健康管理センター、おぐに開発総合センターまたは町ホームページからダウンロード

○資料の郵送を希望するかたは問合先まで連絡ください。

■問合先

総務企画課行政管理担当（☎62-2112）へ

小国の絶景 VS 南陽ラーメン

OGUNI 白い森  
ニュース



白い森ブースに飾った熊の毛皮は大人気で、子ども達が恐る恐るなでたり、一緒に写真を撮ったりと賑わいました。

熊は、私達にとっては身近な存在ですが、町外の人をブースに引き寄せる、強烈なインパクトがありました。他にも、私達が当たり前と思っている地域資源には、意外な力が潜んでいるのかもしれない。

3月24・25日の両日、仙台市の勾当台（こうとうだい）公園において東北の暮らしをテーマにしたイベントが開催され、当町も山菜や雑穀などの特産品、石楠花まつりや熊まつりなどの観光情報をPRしてきました。25日には仁科町長と南陽市長とのトークライブも行われ、お互いの、まち自慢となりました。

**南陽市長** 南陽の魅力はラーメン。私ラーメン星人なので、ラーメンが切れると命がなくなってしまうんです。

**小国町長** 小国はやはり自然。スカイブルーの空に飯豊山の

雪、その下に新緑がわーっと出て、そして花が咲く。このコントラストを見に来てもらいたい。（トーク詳細は町HPにて掲載）

自分の言葉で伝えることで、まちの魅力はより印象深く、相手の心に響きます。私達一人ひとりが自分の言葉で白い森おぐごの魅力伝えて、白い森まるごとブランドを広く発信していきましょう。



事業者のかた向け

町内製品等の販路拡大や付加価値向上を行う事業所を応援します！

対象者 ▶ 町内に事業所を設置している個人または団体

対象となる事業

- ① 展示会、商談会その他の催事等に出店する取り組み（オンライン上のもも含む）
- ② 広報、デザイン等による町内製品等の付加価値を高めるための取り組み

補助金額

補助対象経費の2分の1以内  
（1事業につき10万円が限度、千円未満の端数は切捨）

町民のかた向け

町民のかたの自発的、主体的な活動を応援します！

対象者 ▶ 町内に活動の拠点を有する団体

対象となる事業

- ① 町の魅力を発信し、認知度やイメージの向上につながる事業
- ② 町民のシビックプライドの醸成につながる事業
- ③ イベント開催などにより、関係人口の拡大、誘客等の促進に資する事業

補助金額

補助対象経費の10分の10以内  
（1事業につき20万円が限度、千円未満の端数は切捨）

申込・問合せ先 詳しくは、産業振興課白い森ブランド戦略室（☎87-0821）にお問合せください

## 地域医療懇談会のお知らせ

町立病院では、現在取り組んでいる地域医療に対する考え方などを広くお知らせするとともに、住民のかたがたからご意見、ご要望をお聞きし、社会環境の変化に応じた病院にしていくために、地域医療懇談会を開催します。

■**対象団体** 各地区の自治会、婦人会、老人クラブ、スポーツ・文化団体など町内で活動する団体や企業、任意団体（5人以上）

■**開催方法**

- ①町立病院へ電話で申込みください。
- ②院長のほか、関係する職員が出席します。
- ③会場の設定は各団体でお願いします。
- ④進行は町立病院が行います。

■**申込・問合せ先** 町立病院（☎61-1111）へ

## 町政懇談会のお知らせ

各地域や団体のかたがたから、身近な話題などをお聞きし、まちづくりについて意見交換する町政懇談会を開催します。

■**対象団体** 各地区の自治会、婦人会、老人クラブ、文化団体など、町内で活動する団体

■**開催方法**

- ①希望する日時、懇談会のテーマなどを明記した申込書を提出してください。申込書は役場またはホームページから入手してください。
- ②町長のほか、関係する課長などが出席します。
- ③会場の設定、進行は各団体でお願いします。

■**申込・問合せ先**

総務企画課企画財政室（☎62-2264）へ

## 特定不妊治療費助成

■**助成対象者** 小国町に住所を有し、山形県特定不妊治療費助成の対象となるかた、または夫婦合算の控除後の所得額が730万円未満のかた

■**助成内容** 体外受精および顕微授精の治療費に対し、上限10万円を助成

※助成内容等により上限額が変わります。詳細は健康福祉課に問合せください。

■**申請方法** 申請書と以下の書類を提出ください。

- ①特定不妊治療費助成事業受診等証明書（県助成該当者は写し）②県特定不妊治療費助成金給付決定通知書（県助成該当者のみ）③特定不妊治療に要した費用に関わる領収書④ご夫婦の所得証明書（県助成該当者は不要）⑤所得額算出表（県助成該当者は不要）

■**問合せ先** 健康福祉課（☎61-1000）へ

## 出産支援事業のお知らせ

町では、妊娠・出産等に要する経済的負担を軽減し、安心して出産を迎えられるよう出産支援金を給付しています。

■**助成対象者**

母子健康手帳の交付を受けたかたで、申請時に妊娠中で小国町に住所のあるかた

※他市町村で母子健康手帳の交付を受け、小国町に転入されたかたで申請時に妊娠中のかたも対象になります。

■**助成金額** 妊婦1人に対し5万円（うち3万円は白い森共通商品券）

■**申請方法** 母子健康手帳交付の際に申請書をお渡しします。印鑑と本人または配偶者の銀行口座番号等が分かるものをお持ちください。転入者のかたは、母子健康手帳もお持ちください。

■**問合せ先** 健康福祉課（☎61-1000）へ

### 人権擁護委員に

### 鈴木恵子さんが再任

4月1日付けで、鈴木恵子さん（緑町）が、人権擁護委員に再任されました。任期は平成33年3月31日までの3年間です。

生活の中で困っていることがあれば、相談会を随時行っていますので、ぜひご利用ください。本町の人権擁護委員は次のかたがたです。

- 鈴木 恵子 さん（緑町）
- 相馬 由美子 さん（小国小坂町）
- 松山 茂 さん（岩井沢）
- 小嶋 克浩 さん（小国小坂町）

### 身体障がい者相談員および知的障がい者相談員を委嘱

町では、障がいを持つかたの福祉の推進を図ることを目的として、身体障がい者相談員および知的障がい者相談員を設置しています。今年度、相談員に次のかたを委嘱しました。

■**身体障がい者相談員**

- 舟山 健蔵 さん（越中里）
- 斎藤 登志夫 さん（岩井沢）

■**知的障がい者相談員**

- 伊藤 信子 さん（増岡）

なお、任期は平成30年4月1日から平成32年3月31日までとなります。

## 町民プールオープンに向け ボランティア募集

町民プールをみんなで清掃しましょう！

- 日 時 5月27日(日)9:00~14:00  
(途中参加可能。昼食は清掃後各自対応。)
- 服 装 水に濡れてもいい服装。天候に応じて長靴や雨合羽などの防寒対策をしてください。
- 対象者 中学生以上
- 申込み 下記問合せ先に5月24日(木)までに申込みください。保険に加入しますので、申込みなしでの参加はご遠慮ください。
- 問合せ 教育振興課 (☎62-2141) へ

## 風しん抗体検査および 予防接種費用の助成

### ■助成対象

【抗体検査】小国町に住所を有し、次の①~③に該当するかた。ただし、過去に抗体検査を受けたことがあるかた、風しんに罹患したことがあるかた、および予防接種を2回実施したかたは対象になりません。

- ①妊娠を希望している23~50歳の女性(妊娠中、妊娠している可能性のあるかたは除く。)
- ②抗体価が16を超えるかたを除く①の夫および同居家族
- ③抗体価が16以下の妊婦の夫および同居家族

【予防接種】抗体検査の結果、抗体が十分でないと確認されたかた

- 助成金額【抗体検査】上限7,000円
- 【麻しん風しん混合ワクチン】上限10,640円
- 【風疹ワクチン】上限7,290円

■受付期間 平成31年3月11日(月)まで

■問合せ 健康福祉課 (☎61-1000) へ

## 郷土資料寄贈のお願い

教育委員会では、町に関する資料を集めています。寄贈していただけるかたがおられましたら下記までご連絡ください。

- 資料の例 町の歴史や考古、文化、地理などの書籍や雑誌等/町出身者、お住いのかたが自費出版した歌集、句集等/本町が舞台となっている作品/町内の団体等が作成した同人誌、文芸誌、報告書/町が発行した行政刊行物/マタギや歌舞伎など各地域での活動に関する資料など
- 寄贈資料の取扱い 寄贈資料の取扱いは、総合センター図書室に一任させていただきます。
- 問合せ 教育振興課 (☎62-2141) へ

## 高齢者肺炎球菌ワクチンの 予防接種について

平成30年度の対象者は、次の各年齢です。ただし、すでに肺炎球菌ワクチンの予防接種を受けたことがあるかたは対象外です。

65歳	昭和28年4月2日~昭和29年4月1日生まれ
70歳	昭和23年4月2日~昭和24年4月1日生まれ
75歳	昭和18年4月2日~昭和19年4月1日生まれ
80歳	昭和13年4月2日~昭和14年4月1日生まれ
85歳	昭和8年4月2日~昭和9年4月1日生まれ
90歳	昭和3年4月2日~昭和4年4月1日生まれ
95歳	大正12年4月2日~大正13年4月1日生まれ
100歳	大正7年4月2日~大正8年4月1日生まれ

また、60~64歳のかたで、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有するかた(身体障がい者手帳1級相当)も対象になります。

■問合せ 健康福祉課 (☎61-1000) へ

## 入札結果情報 (平成30年3月21日~平成30年4月20日実施)

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H30.3.30	平成30年度町道舗装補修業務委託	町道全路線	H31.3.31	2,890,000	小国開発(株)	2,800,000
H30.3.30	平成30年度町道道路維持修繕業務委託(第1工区)	町中心部	H31.3.31	2,436,000	齋藤建設(株)	2,400,000
H30.3.30	平成30年度町道道路維持修繕業務委託(第2工区)	東部・東南部	H31.3.31	2,489,000	遠藤建設(株)	2,400,000
H30.3.30	平成30年度町道道路維持修繕業務委託(第3工区)	南部	H31.3.31	2,946,000	(株)横川建設	2,900,000
H30.3.30	平成30年度町道道路維持修繕業務委託(第4工区)	北部・北東部	H31.3.31	3,422,000	安部工業(株)	3,400,000
H30.4.20	平成30年度道の駅用地測量業務委託	小国小坂町	H30.7.31	9,267,000	(株)小国測量設計事務所	9,200,000

\*入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

## 募集

### 町営住宅入居者募集

- ①町営住宅小坂町団地  
3DK 1戸(4階)
- 家賃 所得と家族構成による
- その他 所得制限あり
- ②町営住宅あけぼの団地  
3DK 1戸(3階)
- 家賃 所得と家族構成による
- その他 所得制限あり
- ③町営住宅  
あけぼの高齢者団地  
1LDK 1戸(1階)
- 家賃 所得と家族構成による
- 対象
- ▽世帯所得が21万4千円以下  
で住宅に困っているかた
- ▽60歳以上のかたで自立した  
生活を送ることができ、同  
居するかたが配偶者または  
60歳以上の親族であること
- ④小坂町勤労者住宅  
2DK 1戸(3階)
- 家賃 38000円
- 対象 町内事業所にお勤め  
のかた

- ①〜④共通
- 敷金 家賃の3カ月分
- 募集期限 5月10日(木)
- 入居時期 5月下旬以降
- 問合せ先 地域整備課建設管  
理室 (☎62・2431)へ

### 山形県警察官募集

- 試験区分と受験資格
- ①警察官A 昭和58年4月2  
日から平成13年4月1日ま  
でに生まれたかたで、大学  
を卒業または平成31年3月  
までに卒業見込みのかた
- ②警察官B 昭和58年4月2  
日から平成13年4月1日ま  
でに生まれたかたで、「警  
察官A」の受験資格に該当  
しないかた
- 申込期間  
①4月24日(火)〜6月18日(月)  
②7月13日(金)〜8月27日(月)
- 試験日程  
①7月8日(日) ②9月16日(日)
- 試験内容 教養試験、身体  
測定、体力検査
- 申込・問合せ先 小国警察署  
(☎62・0110)へ

## ご案内

### 県管理河川で伐採している 支障木を無償提供します

- 県では、河川管理上支障と  
なる樹木を伐採しており、こ  
れを薪などに利用するかたに  
無償提供します。提供物がな  
くなり次第終了となります。  
なお、転売等の営利目的の場  
合は提供できません。
- 日時 5月30日(水)〜31日(木)  
午前9時〜午後4時
  - 場所 置賜白川飯豊橋下流  
東側の河川敷(飯豊町添川  
地内)
  - 対象者 自ら積込み運搬が  
できるかた
  - 提供量 軽トラック1台程度
  - 申込  
事前申込不要。当日現地で  
申し込みをするか、役場に  
設置されたチラシまたは県  
ホームページに掲載された  
申込書に記入し、当日持参  
ください。
  - 問合せ先 置賜総合支庁西置  
賜河川砂防課 (☎0238

### IWC2018「SAKE部門」 やまがた開催記念 日本酒チャリティ試飲会

- 世界最大規模のワイン品評  
会であるインターナショナル  
ワインチャレンジ(IWC)  
のSAKE部門が山形で開催  
されることを記念し、IWC  
出品酒のほか県産酒が楽しめ  
るチャリティ試飲会を開催し  
ます。
- 日時 5月20日(日)11時〜16時
  - 場所 米沢市営体育館
  - 内容 利き酒コンテスト、  
抽選会、管内市町村特産品  
PR・物販ブース出店
  - チケット 前売2000  
円、当日2500円、プレ  
ミアムチケット(純米大吟  
醸付)5000円(前売限定)
  - 問合せ先 IWC2018  
「SAKE部門」やまがた  
開催支援委員会事務局(県  
商工労働部商業・県産品振  
興課)(☎023・630  
・2542)へ

## 5月の 保健カレンダー

### 1. 各健診の日程等

#### ■4カ月児健診

- ・期 日 5月25日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成30年1月生まれ

#### ■1歳児健診

- ・期 日 5月25日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成29年5月生まれ

#### ■2歳児歯科健診

- ・期 日 5月16日(水)
- ・受付時間 13:00~13:15
- ・対 象 平成27年9月、10月、11月生まれ

### 2. 場 所 健康管理センター

### 3. その他

母子健康手帳を持参ください。

### 4. 問合せ 健康管理センター (61-1000) へ

## \*子育て支援センターから\*

### ■5月の広場日程

広場名称	曜日	時間
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ)
子育て講座「エアロビクス」	5月24日(木)	10:00~11:30 健康管理センター
タッチケア教室	5月11日(金)	10:00~11:30 子育て支援センター

- 対象者 なかよし広場・子育て講座 就学前のお子さんとお家のかた  
タッチケア教室 生後2ヵ月~歩行前のお子さんとお家のかた
- その他 申込不要です。お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。また、白百合保育園(水曜午前)、すみれ保育園(金曜午前)でもなかよし広場を設けています。詳細は各保育園にお問い合わせください。

- 問合せ 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)・白百合保育園(☎62-2436)・すみれ保育園(☎62-5284)

### 休日当番担当歯科医のお知らせ

5月3日(木)	米沢 仁科歯科医院	0238-21-5838
5月4日(金)	南陽 さくら歯科クリニック	0238-27-8241
5月5日(土)	長井 芳賀歯科医院	0238-84-8107
5月6日(日)	米沢 漆山歯科医院	0238-23-4840
5月13日(日)	米沢 あさひ歯科医院	0238-24-0118
5月20日(日)	高島 千葉歯科医院	0238-57-4618
5月27日(日)	米沢 林歯科医院	0238-22-8148

## 求 人 情 報

右の表は4月16日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。  
求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
(株)スタッフサービス	(派)炭化珪素の品質管理業務	1人	8:30~17:00
カインドネス(有) おぐに調剤薬局	医療事務・薬剤師	各1人	8:30~17:30他
日清医療食品(株) 仙台支店	(請) 調理師・(請) 調理員	各1人	5:30~14:30他
遠藤建設(株)	重機オペレーター・土木施工管理技士・一般作業員	計4人	8:00~17:00
(有)三栄自動車工業	自動車整備士	2人	8:00~17:00
(株)小国いきいき街づくり公社	販売員及び一般事務・販売員	各1人	9:00~18:00他
(株)山芳工務店	電気設備工	3人	9:00~18:00
安部工業(株)	一般作業員	1人	8:00~17:00
斉藤建設(株)	一般作業員	2人	8:00~17:00
(株)横川建設	重機オペレーター見習い・自動車整備工・作業員・現場管理(1級または2級土木施工管理技士)・事務員・営業(見習い可)・配送運転手	計9人	8:00~17:00
日本マニファクチャリングサービス(株)山形支店	(派)機械加工及び付帯業務・(派)製品加工作業及び付帯業務	計10人	8:20~16:50他
第一ホール小国店(有)コンズカンパニー	ホールスタッフ	計3人	8:30~16:15他
NPO法人おぐにスポーツクラブYui	(臨) 業務スタッフ及びスポーツ指導	1人	8:30~17:30他
NPO法人まんまる	一般事務員	1人	8:30~17:00の間の5時間程度
ヤマト運輸(株)長井支店	集配ドライバー	2人	8:30~11:30他
(株)山形銀行	銀行業務(事務・窓口)	1人	9:00~17:00の間の5時間程度
(株)エルタス東北山形営業所	寮のパート勤務員	1人	9:00~17:00他

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。  
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

## 今月の納税 2018.5

5月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●5月28日(月) 水道料

●5月31日(木)

固定資産税、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

### ■問合せ

町民税務課税政管理室  
(62-2403) へ

## 平成30年度自動車税 （県税）の納税について

自動車税の納期限は

**5月31日(木)**です。

お近くの金融機関、郵便局、各総合支庁税務担当課、コンビニエンスストアのほか、インターネットを利用してクレジットカードでも納めることができます。

皆さん忘れずに期限までに納めましょう。

### ■問合せ先

置賜総合支庁税務課（☎0238-26-6014）または置賜総合支庁西置賜税務室（☎0238-88-8210）へ

## 5月の あいべイベント あいべグランドゴルフ大会



- 日時 5月17日(木) 13:30～
- 対象者 どなたでも
- 持ち物 室内シューズ、スティック、ボール（スティック・ボールは貸出可能）
- 参加費 1人300円（保険料・賞品代込）
- 申込締切 5月12日(土)

## 第12回 3×3バスケットボール大会

- 日時 5月20日(日) 8:30～
- 場所 町民総合体育館
- 対象者 中学生以上男女（3～5人のチーム）  
※1人でも参加可能（事務局でチーム編成します）
- 参加費 中・高校生1人800円、大人1人1,000円、Yui会員1人800円（保険料込）
- 申込締切 5月15日(火)

■申込・問合せ先  
（☎62-5808）

**おぐにYui**  
スポーツクラブ

## 総合センター図書室から

～新着図書～

休館日 毎週月曜日・祝日

- |                  |        |
|------------------|--------|
| ◇西郷隆盛と菅秀三郎       | 宇田川 敬介 |
| ◇定年オヤジ改造計画       | 垣谷 美雨  |
| ◇マイパブリックとグランドレベル | 田中 元子  |
| ◇和のクロスステッチ図案帖    | 遠藤 佐絵子 |
| ◇山形くらしの文集 各地区編   |        |

## 相 談

### ▽年金相談

- 日時 5月16日(水)  
10:30～14:00
- 場所 役場大会議室
- 対応者 米沢年金事務所職員
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

### ▽消費者相談

- 日時 5月26日(土)  
10:00～12:00
- 場所 役場
- 対応者 司法書士 舟山健蔵氏
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先  
町民税務課町民生活担当へ

## ブルーペイント大作戦 参加者募集

まちのバリアフリー化の一環として、車いす・障がい者用駐車場の青色塗装を行うボランティアを募集します。

- 日時 5月19日(土) 9:00～12:00  
受付開始 8:30
- 場所 小国町老人福祉センターあおば
- 募集人員 25人程度
- 参加費 1人200円（運営費として）
- 申込方法 Gratitude(グラッティチュード) ホームページもしくはフェイスブックページ（「山形車椅子」で検索）または電話で申込みください。
- 申込締切 5月11日(金)
- その他 汚れてもいい動きやすい服装（ペンキ等が付きやすいです）、防寒着、タオル、飲み物等をご用意ください。
- 問合せ先 Gratitude（☎0238-40-898  
1）または小国町社会福祉協議会（☎62-2825）へ



●小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464  
 ●行政管理室・管財危機管理室 ☎62-2112 ●企画財政室 ☎62-2264 ●会計室 ☎62-2406  
 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403  
 ●白い森ブランド戦略室・移住定住促進室 ☎87-0821 ●商工観光室 ☎62-2416 ●農林振興室 ☎62-2408  
 ●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448



## 戸籍のまど

(3月届出分)

誕生おめでとうございます。

小国小坂町 會田 朔久 (航奈都平子)

叶水 伊藤 彩葉 (正優俊)

兵庫館 佐藤 汰唯厘 (宇郁浩)

おくやみ申し上げます。

玉川中里 船山 サイ (85)

小国町 泉 秀雄 (89)

針生 塚原 貞子 (96)

岩井沢 渡部 フミ子 (82)

北 中島 淑光 (89)

小国小坂町 梅津 昭三郎 (79)

松岡 舟山 クニ (80)

小国小坂町 遠藤 キミ (86)

東原 加藤 芳次 (85)

岩井沢 飯田 ハチ子 (79)

岩井沢 渡邊 一衛 (91)

若山 河内 ちゑ子 (94)

尻無 沢栗 田ナオ (94)

貝少 色摩 嘉雄 (72)

増岡 伊藤 キエ (103)

岩井沢 伊藤 フヨ (94)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

### 人口のうごき (平成30年3月31日現在)

人口 男・・・3,818人 (-36)

女・・・3,862人 (-48)

計・・・7,680人 (-84)

世帯数 3,057世帯 (-34)

## 編集後記

4月24日に町内全ての積雪観測地点の数値が0になりました。周辺の山々にはまだ雪が残っており、雪と新緑のコントラストが素晴らしい季節になりました。今年度の広報を担当するのは、3年目になりました齋藤です。町の情報を一杯取材し、皆様分かります読みやすい紙面にしてお届けできるように頑張りますので、今年1年もよろしくお祈りします。皆様からの地域情報をお待ちしていますので、ぜひお寄せいただければと思います。(齋藤)

## 仕事 vol.1 図鑑

今月号から「仕事図鑑」と題しシリーズで町内企業で働く人を通して、仕事の内容ややりがい、その企業が行っている事業などについて紹介していきます。

1回目は、クアーズテック(株)小国事業所を紹介します。

### クアーズテック株式会社小国事業所

代表者 小国事業所長 菊池 俊之  
 従業員数 597人  
 所在地 小国町大字小国町378  
 事業概要 半導体製造装置、その他産業に用いられるセラミック製品の製造

クアーズテック(株)小国事業所炭化珪素製造溝切班に所属する入社8年目の小関学さん(増岡)。小国事業所だけでなく、これまで秦野事業所(神奈川)や刈谷事業所(愛知)でも約2年の勤務経験があります。小関さんは、半導体製造の熱処理工程に使用される台座でCDラックに似た「ボート」と呼ばれる製品の溝切加工を行っています。

小関さんは「製品を機械にセットする際の位置決めやどのプログラム・ツールを使うのかを覚えるのが大変でした。初めは上司・先輩に指導してもらいメモを取って覚えました。複数台の機械を扱いながら他の装置の状況を見て小さなトラブルに対処しつつ、予定通りに仕事ができる時には達成感があります。部署には若い人も多くいるので、仕事やそれ以外でも先輩との橋渡し役になればと思います。」と話してくださいました。

クアーズテック(株)には小国のほか、国内に3つの製造拠点、国内外に販売拠点がありますが、小国事業所は、水力発電の電力を利用した最新鋭の主力製造拠点で、主に半導体製造装置向けのセラミック製品を製造しています。



▲工作機械を操作する小関学さん

また、モーターを回転させるために電流を供給する部材である「カーボンブラシ」の中で、家電製品や車などに用いられる「マイクロモータ用ブラシ」も製造しており、この製品は世界シェア80%以上を誇っています。

クアーズテックグループでは「素晴らしさをもっと実感できる世界に」をビジョンに掲げ、「目立たないけど欠かせない」製品作りに日夜励んでいます。

# 無言の語り部たちⅡ

その①

## 「八日塔」(小国小坂町)

1993年の広報おぐに裏表紙にシリーズ「無言の語り部たち」で紹介した町内各所にある碑。四半世紀の歳月を経て「無言の語り部たちⅡ」と題しシリーズを復活し、当時紹介できなかった町内各地に多数ある碑を紹介していきます。



▲朴木峠旧道の小坂町側入口。正面には八日塔のほか庚申塔が建てられている

越後街道十三峠のひとつ朴ノ木峠。中心部の小国小坂町と足野水を結ぶ街道です。朴ノ木峠の旧道の小国小坂町側上り口正面に「八日塔」という碑が建っています。この碑は、高さ約90センチほどの自然石に文化12年4月20日講中とあり、上部には梵字が刻まれています。文化12年を西暦にすると1815年であり、この碑は今から200年以上も前に建てられたものになります。

この碑が建てられた背景を「小国の交通(平成8年3月25日発行)」では次のように解説しています。

「この八日塔は八日をご縁日とするのは大日如来であり、この大日如来を本尊として信仰するところが湯殿山で



ある。この碑は湯殿山を信仰する人たちの『講中』によって建てられたもので『八日塔』の文字のあるのは、小国ではここと諏訪神社境内にある。」とあります。

また、この八日塔について記載のある「小国の信仰(平成6年3月31日発行)」では、「小国小坂町南端、水上屋裏に一基ある三山詣りや、それになまつわる諸行事は次第にすたれてゆく中で、この八日塔も今は知る人がないほど忘れられているが、八日講の名残りであろう。八日講の由来は夏峰入の始めである旧4月8日が三山(月山、湯殿山、羽黒山)の開山記念日であった

ことに基づいている。行人の間では4月8日を「三山さん」とよびならし、毎月8日には各講中ごと三山供養の行事が行われた。この八日講は元、羽黒修験の年中行事であったものが近世中頃以後、村の三山行者達が講の日常行事として伝えられたものという。」とあります。

人々は、美しい山の姿、火山の爆発などの巨大なエネルギーやあらゆる動植物を育む山の偉大な力に対し畏敬と神秘の念を抱き、山そのものを神として崇めてきました。この八日塔は、そうした山岳信仰や三山信仰を今に伝える碑と言えるでしょう。